

# 佐世保のクルーズ事情

天然の良港を持ち、港を中心に発展してきた佐世保のまち。自衛隊や米海軍の基地、造船施設が建ち並ぶ佐世保港に、近年、大型のクルーズ客船が寄港するようになりまし。今回の特集では、本市が進めるクルーズ客船誘致のための取り組みやクルーズ市場の現状などについてお知らせします。



平成27年4月に供用開始になった「葉港テラス」。お出迎えやお見送りができる送迎デッキの他、国際定期船の就航を見据え、外貨貨物の保管や検査を行うための施設も備えています

## 100隻を超えるクルーズ客船

平成26年4月の三浦岸壁の供用開始以降、佐世保港には大型クルーズ客船がよく寄港するようになりました。港の近くや弓張岳展望台からは停泊する大型クルーズ客船の姿を見ることができ、佐世保港の新たな風景となっています。

佐世保港にはこれまでに日本有数の豪華客船「飛鳥II」やイタリア船籍の「ノスタレクトリア」、パナマ船籍の「中華泰山」などさまざまな船が入港。佐世保港を発着地とした東アジアの周遊ツアーも組まれるなど、徐々にその知名度や人気も高まっています。

出入国に必要なC-IQ(税関、出入国管理、検疫)機能を有する佐世保港国際ターミナル「葉港テラス」が供用開始になった平成27年は延べ36隻の大型クルーズ客船が入港し、寄港回数は前年の全国26位(10隻から8位(36隻)と大きく躍進しました。今年度も昨年度を大きく上回るペースでクルーズ客船が寄港しており、三浦岸壁の供用開始以降、佐世保港で受け入れたクルーズ客船は平成28年11月で延べ100隻を超えました。

## さらなるクルーズ客船を誘致

佐世保は東アジアに近く、ハウス・テンボスや九十九島といった日本有数の観光地があります。現在本市では、この利点を生かし、中国などの船会社や旅行会社などに対し、積極的にセールス活動を行っています。また、さらに大型のクルーズ客船を受け入れられるよう、平成30年7月の供用開始を目指し、三浦岸壁の延伸計画を進めています。

国際観光と九州サブゲートウェイ構想は本市の成長戦略プロジェクトの柱でもあり、今後さらにクルーズ客船を誘致することで、国際色豊かな港まち「佐世保」のまちづくりを推進するとともに、将来的には多種多様なクルーズ客船が寄港する港になるよう取り組んでいきます。

港湾別のクルーズ客船の寄港回数

平成26年			平成27年		
順位	港湾名	回数	順位	港湾名	回数
1	横浜	146	1	博多	259
2	博多	115	2	長崎	131
3	神戸	100	3	横浜	125
4	那覇	80	4	那覇	115
5	長崎	75	5	神戸	97
6	石垣島	73	6	石垣島	84
7	小樽	41	7	鹿児島	53
	：		8	佐世保	36
26	仙台塩釜	10	9	名古屋	34
	佐世保		10	広島	32





日本海事新聞社

編集局取材部長 沖田一弘さん



国内外のクルーズ業界を取材して20年あまり。欧米のクルーズ客船運航会社幹部に知己も多い。15年前に港湾関係者と「全国クルーズ客船誘致連絡会」を立ち上げ、寄港時のもてなしや誘致活動など情報共有の場を創設。両親は高校時代まで佐世保で過ごし、数年に一度は東京から帰省している。

現在、訪日クルーズ旅客数を2020年に500万人(年間)にすることを目指し、国を挙げた取り組みが行われています。国内外のクルーズ業界に詳しい日本海事新聞社の沖田一弘さんに、最近のクルーズ事情や寄港地としての佐世保港の魅力と課題などについて伺いました。

200万人を超えるアジア市場

米国で始まったクルーズ客船を使った旅は50年以上の歴史があり、2015年の市場規模は全世界で2320万人といわれています。日本を含めたアジアでは10年ほど前からクルーズ市場が拡大し、昨年初めて200万人を超えました。アジアのクルーズをけん引しているのは中国で、市場の半分ほどを占めています。日本の市場規模は20万人を超えたところで足踏み状態ですが、アジアの成長ぶりには欧米のクルーズ客船運航会社も注目しています。

中国でクルーズ旅行の人口が急拡大したことで、アジア周遊クルーズも急増し、中国人乗船客に人気が高い日本を組み込んだコースは大幅に増えました。こうし

た状況を受け、国も外国人の入国審査簡素化や港湾施設の整備などに取り組み、昨年、外国籍クルーズ客船が訪れた回数は前年比1.5倍の965回、クルーズ客船を使って日本を訪れた外国人客も同2.7倍の111万人となりました。クルーズ客船の寄港がもたらす経済効果などは地方創生や地域の活性化につながるから、今後も国は積極的な取り組みを続けることを決めています。

船社にも乗船客にも

好評な佐世保港

佐世保港では2014年春に三浦岸壁の整備工事が終わり、翌15年4月には国際ターミナルも供用を開始し、7万総トン級のクルーズ客船の寄港ができるようになった。それまで利用していた前畑の貨物船用の岸壁とは異なり、駅や商店街などに徒歩で行ける便利さから、クルーズ客船運航会社や乗船客にも「使いやすい」と好評です。

クルーズ客船の寄港が急増した背景には中国のクルーズブーム、さらに博多港や長崎港などのクルーズ客船受け入れが限界にきているといった事情もあります

が、関係者が市場動向を見極め、時宜を得た着実な港湾整備を進めてきたことが功を奏したといっています。

大型化への対応

アジア周遊クルーズは近年、就航船の大型化が急速に進んでいます。現在、その主力は13〜16万総トンですが、こうした船は今の佐世保港には寄港できません。市の港湾整備計画によると、三浦岸壁に16万総トン級のクルーズ客船が接岸できるよう検討中とのこと。今後数年先のプランとして、中国に配船しているクルーズ客船はさらに大型船が増えることが内定しており、その大半が日本寄港を希望しています。米国の運航会社関係者から問い合わせがありますが、その中に「観光面でもアクセスの良さでも優れている佐世保港に何となく寄港できないか」という声は少なくありません。

佐世保港の潜在能力

16万総トン級のクルーズ客船が寄港できる港は、博多港や長崎港を含めて国内では10カ所以上ありますが、中国の発着

ソフト面での受け入れ拡充を

港の整備だけでクルーズ客船の寄港が増えるかというと、そう簡単にはいかない面があります。大型のクルーズ客船の受け入れには寄港地観光で使う数多くのバスの確保とともに、2、300人が一度に昼食を取られる施設が複数あること、相応の観光先や買い物場が楽しめる場所が港から片道1時間半圏内にあることなどが求められます。

こうした取り組みには、港湾関係者と地元観光事業者や商工事業者らが連携して知恵を出し合うことが重要です。ぜひソフト面のクルーズ客船受け入れ拡充策を考えてほしいと思います。

多くの「売り物」を持った佐世保港

佐世保港は、地理的、観光面の優位性に加えて、海の幸を中心に四季折々の恵まれた食の魅力、そして九十九島の多島美などが昼夜を問わず乗船客を魅了すると思います。クルーズ客船の寄港先として、これほど多くの「売り物」を持っている港は、そう多くありません。自信を持ってクルーズ客船の誘致活動に取り組んでほしいと思います。市民の皆さんもお見送りなどの面でお手伝いしていただければ、必ずや「次の寄港」に結び付くのではないのでしょうか。

本格化する受け入れ態勢の整備

大型クルーズ客船の受け入れは、一度に多くの観光客が訪れるビジネスチャンスです。市独自の調査では、昨年度6万人を超える乗客・乗組員が市内商業施設などを周遊し、約9億円を消費したと推定しています。市中心部では、増加する外国人観光客に対応するため、商店街や商業施設、商工会議所などでつくる「SASEBOまち元気協議会」が主体となって受け入れ環境を整備。これまで「銀聯カード」と呼ばれる主に中国人向けの

カード決済端末を導入したり、歓迎フラッグや中国語のガイドマップを作成したりしてきました。スマートフォンなどで観光情報を入手しやすいよう、来年度には無料の公衆無線LAN「Wi-Fi」の導入も計画されています。クルーズ乗船客のまちなかでの消費や市内観光地への立ち寄りには地域経済の活性化にも直結することから、本市では今後も外国人観光客を受け入れるための環境づくりを推進していきます。

写真は、クルーズ乗船客の来園数が本年度に入り増加している九十九島動物園。多言語での案内マップや横断幕を設置するなどして外国人観光客への対応を図っています。



港は上海や香港、天津などに限られています。クルーズ日程は4〜6日程度に人気が集まっていることもあり、極めて有利な地理的環境にある佐世保港が16万総トン級に対応できれば、これからも相当数の寄港が見込まれます。大型のクルーズ客船は1回の寄港で2千〜4千人程度の乗船客を運んできます。寄港地観光で利用する観光バスも100台程度は確実に必要になりますが、幸いにも佐世保港周辺ではバスの駐車スペースが十分確保でき、観光ツアーに出掛けない乗船客が港周辺を散策するときに簡単に訪れる商店街や観光地が港の近くにありま

す。クルーズ客船運航会社の寄港コースがあり、寄港地としての潜在能力が十分な佐世保港を活用しないのは美にもったいないことだと思います。



九十九島を望む展海峰は外国人観光客にも好評。クルーズの乗船客も多く訪れます





# 市民の皆さんに支えられるクルーズ船の「おもてなし」



船上から大勢の乗客が見守る中、中国語の入ったオリジナル曲「再見」の歌とダンスを披露するスターライトスクールの子どもたち。「手を振って応えてくれたり、歓声が上がったりすることもあり、お見送りは本当に楽しい。言葉は通じなくても、おもてなしの気持ちは伝わっていると思う」と笑顔で話してくれました。

## 出港時のお見送りイベント

クルーズ客船の乗客・乗員の皆さんに「また佐世保に来てほしい」という思いで開催しているお見送りイベント。出港時間に合わせて三浦岸壁で行われており、多くの市民の皆さんのご協力の下、太鼓やダンス、高校生のマーチングバンド、佐世保ならではのYOSA K OI 演舞、ジャズなどが毎回披露されています。乗客、乗員の皆さんにも大変好評で、「素敵なお見送りに感動しました」とも思い出深い出港となりました。出港時のお見送りイベントにはどなたでも自由に参加することができますので、今後とも皆さんのご協力をよりしくお願いします。



お見送りイベントの様子。離岸するときにペンライトと黄色いハンカチを振ってお別れします。

※三浦岸壁は佐世保駅みなと口側から行くことができます(徒歩約5分)。出港時間の30分前から佐世保港国際ターミナル駐車場も利用もできます。

### 外国人観光客 ウェルカムサポーター

本市では平成25年から外国人観光客向けの通訳ボランティア「佐世保市外国人観光客ウェルカムサポーター制度」を開始しました。現在約50人が登録し、クルーズ客船が寄港するときに活動しています。ボランティアの佐藤公美さん(さとうこうみ)に話を伺いました。

### 佐世保のいいところを知ってほしい

「外国の方とコミュニケーションを取ってみたいという好奇心でウェルカムサポーターになりました」と笑顔で話す佐藤さん。若いころから志願だった英語の勉強を65歳から始め、英語、サポーター歴は共に4年目です。サポーターの主な活動はクルーズ客船の停泊中に自由



時間がある乗組員向けの案内、「無料でWiFiが使える場所や、両替場所を聞かれることが多いですね。乗組員の方の中には、ターミナルや船の中で過ごす人もいますが、せっかく佐世保に来たんだから、観光や買い物をして、佐世保のいいところを知ってほしい」と思って活動しています。

### 佐世保を再訪してもらえよう

乗組員はベトナムや中国、ウクライナ

など国籍もさまざま。サポーターの活動をしていると観光地に行きたい人、温泉に入りたい人、落し物をした人などいろんな人に遭遇するそうです。「不安を抱えている外国の方にとって何が一番いいか、どうしたら安心してもらえるのかを考えて案内しています。何を聞かれるかわからないから事前の情報収集や準備も欠かせません。バスや電車の時刻表はもちろん、市内のイベントのチラシや多言語のパンフレットなどを持ち歩くので、荷物がいっぱい重いですよ」と笑いながら話してくれました。

「乗組員として佐世保を訪れた人に、佐世保のまちを好きになってもらって、次は観光客として来てもらうことが目標」と佐藤さん。心強いサポーターの皆さんによって、佐世保の港は支えられています。

(取材日 11月22日)

外国人ウェルカムサポーター募集対象

満18歳以上で、市内か近郊に在住し、日常生活程度の外国語能力がある人

申請方法

登録申請書を国際政策課へメール(Kokusai@city.sasebo.lg.jp)、ファクス(37・6134)または郵送(〒857・8585、住所不要)。登録申請書は市役所12階・国際政策課で配布するほか、市HPからもダウンロードできます。

問い合わせ

国際政策課 ☎24・1111

クルーズさせば

ファンクラブ会員募集



お見送りイベントでの勇壮な太鼓の演奏(卸団地太鼓錬成会)

会員になると、クルーズ客船の寄港予定やお見送りイベント情報の他、船内見学や市民クルーズの情報をメールでご案内します。

※入会金・年会費は掛かりません。

活動内容

クルーズ客船のお出迎え、出港時のお見送りなど

入会方法

佐世保観光コンベンション協会HP内に掲載する申込用紙に必要事項を記入し、クルーズさせば事務局へ

※クルーズ客船寄港時には佐世保港国際ターミナルでも受け付けます。

問い合わせ

クルーズさせば事務局 ☎23・3369

クルーズ客船の入港情報

佐世保港に入港するクルーズ客船の最新情報は、左記HPでご確認ください。

長崎旅ネット

http://www.nagasaki-tabinet.com/noujin/cruise/

問い合わせ

特集について

秘書課 ☎24・1111

クルーズ船の受け入れや誘致について

みなと振興・管理課

☎22・6127

観光課 ☎24・1111